

# 1-11

## 胃ろうから経口摂取への取り組み

～「お寿司」に向かって～

経口摂取移行

個別ケア

特別養護老人ホーム ひのてしえん 日の出紫苑

介護課：市川 俊幸

介護課：泉 洋平

東京都西多摩郡日の出町大久野231-1

TEL： 042-597-1941

E-mail： hinodesien@outoukai.or.jp

FAX： 042-597-1949

URL： <http://www.outoukai.or.jp>

今回の発表の施設  
またはサービスの  
概要

平成8年、東京都西多摩郡日の出町に開設。法人理念『人と社会に心安まる灯（あかり）をともし』のもと、利用者の安全・快適な生活を援助している。平成19年3月に武蔵村山市にデイサービス、4月には大田区にグループホームを開設。

### 〈取り組んだ課題〉

・胃ろうから経口摂取への移行

### 〈具体的な取り組み〉

#### ①入所後1週間は体調面の様子観察

・口腔環境の整備  
口腔内を清潔に保ち、機能の向上をめざすべく1日3回の口腔ケアを行った。  
・同時に、1週間体調状態を観察した結果安定していた。前の病院では経口摂取訓練を行っていた為、医務課、営業課、給食課、ケアマネと相談し1週間を目途に当苑でも経口摂取訓練を開始する。

#### ②経口摂取訓練の開始

・ヨーグルトを提供開始する  
朝・夕2回胃ろうにて栄養摂取。おやつ時1日1回のヨーグルト提供から開始。1週間後に嚥下状態問題なく、身体状態の観察行方が発熱等ない為、1日2回の提供を行う。

#### ③経口摂取移行開始

・ミキサー食を提供開始する  
昼のみの開始から状態の変化なく嚥下状態良好。発熱ない為、夕、朝食時もミキサー食を提供する。

#### ④食事形態の見直し

・3食ミキサー食提供も状態の変化なく、嚥下状態良好。むせ込み見られない為、昼食のみ食事形態をミキサーから主食:粥・副食:極刻みに変更する。

### 〈活動の成果と評価〉

#### ① 経口摂取に対する評価

・3食、食事を開始したが嚥下状態問題なく経過している。今後、常食が食べられるよう援助していく。

#### ② Mさんの変化

入所時は活気なく椅子に座られている時間が多かったが、ヨーグルト摂取開始時に「お寿司が食べたい」と話されるようになり、時間になると自ら「ヨーグルト頂戴」とキッチンまで来るようになった。  
また、精神面での変化も見られ、入所時は暴言・暴力行為があったが、消失している。  
他利用者との交流を持つようになった。  
夜間も自分でトイレに行くようになった。

#### ③ 職員の変化

職員の意識が変わってきている  
・胃ろうは外せない→経管栄養の人も食事を食べれる  
・利用者の残存機能、尊厳の維持を考えるようになった。  
・利用者との関わりが深くなり、今まで知らなかった情報が見えてきた。

### 〈今後の課題〉

- ① 本人希望の「お寿司」が食べられる。  
歯科受診（義歯の作成）
- ② Mさんに経口摂取だけではなく「楽しみ」「生きがい」を見つけていく。
- ③ Mさんだけではなく他の利用者にも同様のケアをおこなっていく。

## 【メモ欄】